

♡♡♡♡入居者インタビュー♡♡♡♡

「“私らしく…そしてかっこ良く生きたい！”

・・・佐山勝子様 (79 歳)

～自分自身のためにも、今を楽しみたい！～



●気づけば、コーラスを始めて半世紀以上に！

今も、歌うことに夢中で、毎週船橋にレッスンに通っています。新しい楽譜をもらう度に、どんな曲かしら…!?とワクワクし、鍵盤を叩いたり、音域を確認したりと、イメージを膨らませて胸をときめかせています。もともと声を出すのが好きだったみたいで、学生時代はコーラスのほか、放送



文化ホールでの発表は、緊張と高揚感が…!!

部にも所属していました。それでも、本格的な発声練習、皆と声を合わせて歌うことは毎回緊張の連続です。時には上手く歌えない悔しさで涙を流し、辞めてしまおうと思ったこともありましたが、その度に仲間から「無理しなくてもいい、一緒に頑張ろう！」と励まされ、今も続けることができます。仲間と一緒に、今年もホールという大舞台での演奏を目指しているので、日々の練習にも気合が入り、張り合いもあります！

●入居するまで、いろいろありました…が、今を楽しみたい

実は、佐倉〈ゆうゆうの里〉とのお付き合いは、かれこれ15年にもなります。義理姉が、12年間佐倉〈ゆうゆうの里〉にお世話になり、私達夫婦が身元引受人でもあったので、足繁く里を訪ねていました。何時訪ねて行っても、どの職員さんもがニコリ笑って挨拶をしてくれる、これがとても嬉しかったです。また、義姉の最期まで、本当によくしていただきました。私達も子供がないので、「いずれは里へ」と思っていました。ところが、突然私が圧迫骨折してしまい、生活は一変。この経験を機に、元気で動き回れるようになった“今のうちに安心を得よう”と入居を決めました。

ところが、契約の準備をはじめたところで、主人が急死…。本当に、これからどうしよう…と不安で弱気にもなりかけましたが、多くの人の優しさに触れて、自分を取り戻し、迷いなく佐倉〈ゆうゆうの里〉の住民になりました。今は一人、家族はいないけれど、親戚、周りには楽しい仲間がいてくれるので、自分自身のためにも今を楽しく生きたいと思います。



H29.1.1 新年祝賀会
みんなで乾杯～！

● 人との温かい繋がりが私を私らしくしてくれる



昔から一つのことに熱中するタイプで、上達するまで頑張る方です。30歳を過ぎた頃、朗読ボランティアを始めました。どんな話し方・感情・雰囲気を読んだら聞く人の耳に、心に入っていくのか…？常に仲間と勉強の日々でした。聞き手からの声（お言葉）は嬉しくて、更に頑張ろう！という気になりました。今は、当財団の季刊誌：冊子「ゆうゆう」の朗読のお手伝いをしています。誰かに必要とされ、微力ながらもお力になれるということで、“人との温かい繋がりが”感じられ、とても幸せな気分になります。私でお役に立てることがあれば、今後も、何でもやってみよう、続けたい、と思っています。

大好きなコーラスをいつまでも続けたい！という佐山さん。コーラスには体力も必要だから…！と、自分の体をベストな状態にするために、日々の運動（体育室でアスレチックジム、ホールで朝の体操など）を習慣化し、姿勢も著しく改善されました。いろいろなことがあっても、プラス思考で、乗り越える強さ…、優しい笑顔の向こうに強いパワーを感じました。声も本当に美しい…です。